

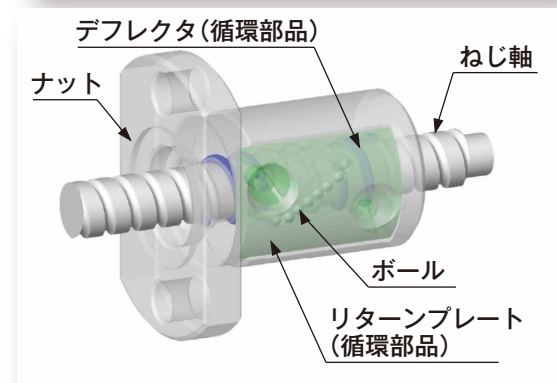
# KSS メールマガジン

今回のテーマ

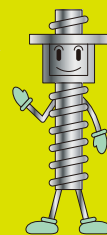
## ボールねじの中身ってどうなっているの???



普段ボールねじを使っている方、  
ボールねじを初めて見る方も含め、  
ボールねじの内部がどうなっているかご存知ですか？  
ボールねじは、ねじ軸とナットの間をボールが転がって  
いますが、そのボールをナットからこぼれ落ちないように無限循環させる部品(これを循環部品といいます)が  
組み込まれているのです。



これらの部品を熟練した職人が組付けています。



組付の様子

動画  
形式 mp4



実際に組付けられたボールねじを動かすと  
ナット内のボールはどのように循環するのでしょうか？  
スケルトンでナットを製作してみました。

ボールねじ  
循環の様子

動画  
形式 mp4

KSS はミニチュアボールねじの専用メーカーですから、必然的に使用するボールも小さくなります。最小のボールは直径が**0.4mm**です。シャープペンシルの芯の直径が0.5mmなのでそれより小さい球になります。こんな小さいボールを組付けているので、職人しかできない技と言えます。



KSS では、ねじ軸の直径がφ1.8～φ16mm までのミニチュアボールねじを専門に製作し、40年近くが経過しました。

今までに培った技術とノウハウで、皆様のお役に立てると確信しています。是非一度ご検討ください。



**ケーエスエス株式会社**  
[www.kss-superdrive.co.jp](http://www.kss-superdrive.co.jp)

お問い合わせはこちら  
[sales@kss-superdrive.co.jp](mailto:sales@kss-superdrive.co.jp)  
TEL. : 03-3756-3921 FAX. : 03-3756-3232